

採択企画「宮沢賢治展」

(代表者 森岡 祥悠)

企画概要

学内のARTサークルココロノキヲクを中心に

- ・展示会を通して、学生や地域の方にメッセージを発信する展示会
- ・京都産業大学ならではの展示を実現し、大学自身がリコメンドできる展示会を『宮沢賢治』を題材に目指す企画です。

結果報告

私たちは11月の学園祭での展示会開催を目指し活動を行いました。

展示会開催にあたり、誰もが知っている「宮沢賢治」をモチーフに、専門性とメッセージ性溢れる展示を目指し以下の様な活動を行いました。

- ・学内大学教授へのコラム作成依頼(宮沢賢治の専門性を5名の教授のご協力で実現)
- ・岩手県『宮沢賢治記念館』および、宮沢和樹様への協力依頼(9月には副館長様・宮沢和樹様に訪問インタビュー・コラム作成などを実現)
- ・学内サタデージャンボリー参加(子供の背丈に合わせた10mの巨大塗り絵・宮沢賢治童話「北守将軍と三人の医者」をアレンジした人形劇を行い子供たちとアートを楽しむ)
- ・神山祭で宮沢賢治展『心象スケッチ～銀河鉄道の夜に～』を開催(8号館4階のスペースを借り、銀河鉄道の夜をモチーフにした展示空間を作成。

結果1000人以上の来場者に楽しんで頂き、アンケートでは「この展示会を見て宮沢賢治作品に触れてみたいと思いましたか？」に対し、94%の方々にYESという回答を頂きました)

感想・まとめ

私はこの企画を通して、チームワークの“強さ”を一番に感じました。

大きな事を成し遂げようと思った時に、一人では難しい事が多々あります。しかし、チームとして個性やアイデアが集まれば各々が補い合い、限りなく完成に近づくのだと実感しました。また、この企画は多くの方のご協力により実現する事ができました。

当初の企画通りにいかない事もありましたが、無事に開催を実現できた事に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

昨今、学内文化団体の活動がどんどんと活発になってきています。

これからご活躍になる学生の皆さんにも、活動の中で決して委縮せず、のびのびとやりたい事、新しいチャレンジを行って行って欲しいです。私は来期のサギタリウスチャレンジを含め、また新しい文化団体のユニークな企画が生まれて欲しいという期待の気持ちでいっぱいです。京産大の文化団体同士でこれからも切磋琢磨し、雨ニモ負ケズ、新しいクリエイティブに挑み続けましょう。

以 上